

KNT-CTホールディングス株式会社 | 証券コード: 9726

株主通信

第81期

2017年4月1日 ▶ 2018年3月31日

世界中の人々の夢と感動のため
私たちは常にチャレンジします



TOP MESSAGE

ごあいさつ

株主の皆さまには平素格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、2018年3月31日をもって第81期の決算を行いましたので、ご報告申し上げます。

KNT-CTホールディングス株式会社
代表取締役社長 丸山 隆司



事業の概況

当社グループは、総合旅行会社として持続的な成長を図るため、2017年10月1日と2018年4月1日の二度にわたり、近畿日本ツーリスト株式会社と近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社の会社分割を実施し、地域旅行会社4社と専門旅行会社3社の合計7社に再編いたしました。これにより、関東、首都圏、中部および関西の各地域旅行会社は、すでに分社を終えている旅行会社とともに、地域それぞれのマーケットに即応して、団体旅行、個人旅行の区別なくお客さまの視点に立つ営業活動ができる体制を、また、法人旅行・訪日旅行・Web販売に特化した専門会社3社は、それぞれ変化の激しいマーケットに機動的に対応できる体制を確立いたしました。

事業面においては、中期経営計画で定めた事業方針に基づき、成長分野であるスポーツ事業、訪日旅行事業および地域交流事業の3事業に注力したこともあり連結業績は増収増益を確保することができました。しかしながら当社では、事業構造改革

の一環として、現在Webサイトの刷新、基幹システムの更新などに相当額のシステム投資を進めておりますので、それらに必要な内部留保を確保いたしたく、誠に申し訳ございませんが、期末配当は見送らせていただきました。

株主の皆さまには深くお詫び申し上げますとともに、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

■連結業績

	業績	前期比
売上高	405,172百万円	2.3%増
営業利益	3,177百万円	7.0%増
経常利益	3,342百万円	9.8%増
親会社株主に帰属する当期純利益	1,412百万円	—

今後に向けて

今後につきましては、旅行業界では、政府の観光立国に向けた政策効果により訪日外国人のさらなる増加が見込まれるほか、東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けた動きもあり、旅行市場全体の拡大は今後も続くものと予想されます。しかしながら一方で、少子高齢化の進行、OTA(Online Travel Agent、オンライン専門旅行会社)の事業拡大、2018年6月施行の住宅宿泊事業法(民泊新法)など、大きな環境変化が進んでおります。

このような状況の中、当社グループは「個人旅行事業の再構築と団体旅行事業の拡大・強化」を骨子とする新しい中期経営計画を策定しました。新しい事業体制のもと、さらなる成長を図るため諸施策を推進してまいります。

まず、個人旅行事業の再構築を図るため、近畿日本ツーリストとクラブツーリズムの商品開発における一層の連携を進めるとともに、Web販売の拡大を目指し両社Webサイトを刷新いたします。具体的には、2018年度から両サイトのデザイン・機能をOTAに対抗しうるレベルに高めたい。2020年度を目途に統合し、効果的な顧客誘導を図ります。

また、グループ全体で約1,000万人に上る会員情報を有効に活用するため、近畿日本ツーリストとクラブツーリズムの顧客情報を集約し、効率的なマーケティングでWeb販売の増収につなげてまいります。さらに、全国各地に店舗を持つ総合旅行会社

ならではの強みを活かし、グループ会社の支店網を駆使して、地域の隠れた観光素材にスポットを当てた、地元でしか作れない着地型旅行商品を造成してまいります。

この着地型旅行商品はグループで一元管理し、そこに全国各地からの輸送手段と宿泊施設を組み合わせることによって、全国で販売するオリジナル商品として展開してまいります。また、団体旅行や訪日旅行にも組み込むことで他社との差別化を図ってまいります。

団体旅行事業では、開催まで2年余りとなった東京2020オリンピック・パラリンピックのオフィシャル旅行サービスパートナーとして、スポンサー企業が展開するホスピタリティ・プログラムやスポーツ団体による事前合宿等の受注に全力を尽くしてまいります。また、昨年9月に受託した東京2020オリンピック・パラリンピック関係者のバス輸送業務についても万全の準備を尽くし、大会の成功に貢献してまいります。

以上の施策を着実に実行し、当社グループの事業構造改革を推進していくことで業績を向上してまいります。さらに、コンプライアンスの徹底、情報セキュリティをはじめとするリスク管理の強化、コーポレートガバナンスの向上を図り、企業価値の向上に努めてまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、今後とも何卒倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新中期経営計画 2018-2020

2018年4月からスタートした新しい事業体制のもと、事業構造改革による売上高および利益の拡大を基本目標とする新しい中期経営計画を策定いたしました。

基本方針

1 組織再編による効果の最大化

- (1) 地域を単位とした分社体制により、地域のお客さまとの接点拡大による、すべての旅行関連需要の獲得を目指す。
- (2) Web販売、訪日旅行、東京地区のMICEを中心とした法人旅行の3つの専門会社において、それぞれの専門領域を深化させ販売の拡大を図る。

2 個人旅行事業の再構築

- (1) Webファーストへの転換を図る。
- (2) 近畿日本ツーリストとクラブツーリズムを一体化する。

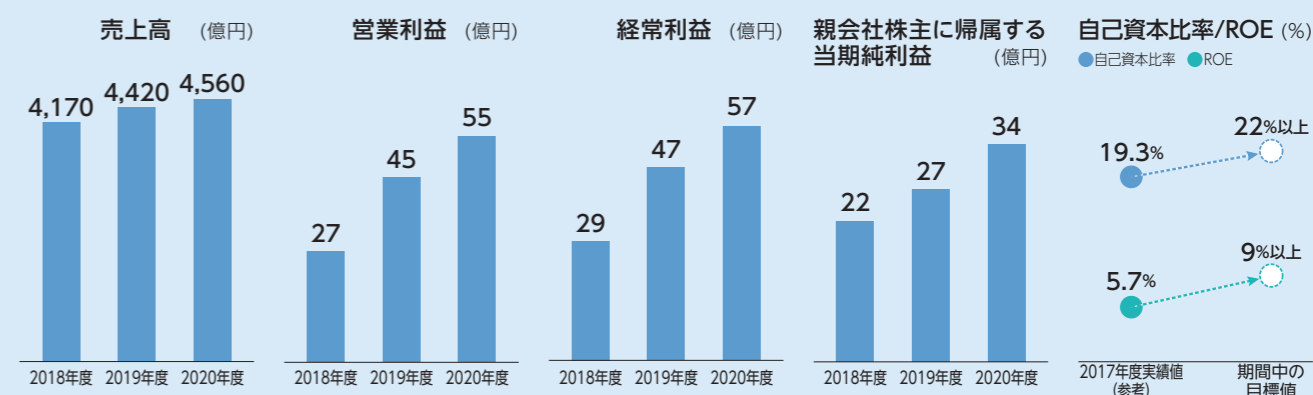
具体的施策

商品の企画・造成 Web販売に適した商品やテーマ性の高い商品を開発、拡充	商品の販売 パンフレットからWebへ転換/店舗では、クラブツーリズム商品の販売拡大を強力に推進	仕入 近畿日本ツーリスト(KNT)およびクラブツーリズム(CT)の協力宿泊機関・観光施設等の団体を統合
ITシステムの開発・改修 サイトのユーザビリティ向上とスマートフォン対応の強化/KNTとCTのサイトと顧客データベースの統合	マーケティングの強化 KNTとCTの顧客データの統合により、確度の高いデータ分析に基づく顧客へのアプローチを強化	訪日FIT事業の強化 国内ツアー・日帰り・宿泊商品の転用による商品の拡充を図り、Web販売を拡大

3 団体旅行事業の拡大・強化

- (1) 2020年国際的大型スポーツイベント大会事業の取扱いを拡大する。
- (2) 成長領域への新たな取組みを進める。
- (3) 教育関連事業の領域を拡大する。
- (4) 団体基幹システムを活用する。

経営目標



ITシステム投資計画

Webファーストへの転換や顧客データベースの充実を主軸とした個人旅行の再構築をはじめ、訪日旅行の拡大等にも寄与するシステム開発のために3年間合計で約94億円を投資いたします。

(単位:億円)

	2018年度	2019年度	2020年度
IT投資額	46	17	31

当社グループのWebサイトを刷新 「より快適で、さらに使い勝手のよいサイト」を目指して

旅行予約におけるWebサイトの重要性がますます高まる今日、近畿日本ツーリストとクラブツーリズムでは、Webサイトの抜本的な刷新を進めています。

両サイトとも本年5月までに、トップページやツアー詳細ページなどの写真表示を大きくし、シンプルで見やすいデザインにリニューアルしています。また、スマートフォン対応を強化し、スマートフォンでの予約が中心となっているお客さまの使い勝手を向上しました。さらに、サイトを訪問されたお客さまが成約に至るまでのステップを短くしたり、お客さまが自分にふさわしいツアーを便利に検索できる機能を高めるなど、より快適に予約できるサイトに改良しています。

このほか、近畿日本ツーリストのWebサイトでは、今後社員自身が簡単に情報発信できる仕組みや、Webを基点に商品造成を行うWebファーストの仕組みを構築し情報の鮮度を大幅に高めるほか、クラブツーリズムのWebサイトでは、従来お客さまに郵送していた最終日程表などのご案内を、お客さまのパソコン等に配信する仕組みを構築するなど、お客さまの利便性を向上しつつ、Webサイトの運営を合理化してまいります。

当社グループでは、今後約1,000万人に上る会員情報をさらに拡大し、2020年度には近畿日本ツーリストとクラブツーリズムの顧客情報を統合。それらを駆使したマーケティングでWeb販売の拡大につなげてまいります。

新しくなった両Webサイトをぜひご覧ください。



写真表示の大きくなったPC用サイト（左：近畿日本ツーリストトップページ・右：クラブツーリズム特集ページ）



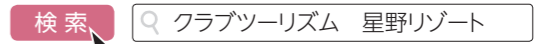
シンプルで見やすくなった近畿日本ツーリストスマホ用サイト（左）
操作がPCと共通化されたクラブツーリズムスマホ用サイト（右）

クラブツーリズムと星野リゾートだからこそできる新しい旅 クラブツーリズム×星野リゾート共同プロジェクト始動

クラブツーリズムでは、星野リゾートと共同でプロジェクトを立ち上げ、本年3月クラブツーリズムと星野リゾートだからこそできる新しい旅の特別カタログ「クラブツーリズム×星野リゾート」を創刊しました。今後も継続して発行してまいります。

創刊号では、両社の社員同士が議論を重ねて作った特別企画で、ラグジュアリーバスを使った「クルーズバスの旅」、旅して健康をテーマにした「会津で見つける私の休息3日間」など自由な発想で作上げた新しい旅を掲載しています。

両社の熱い思いの詰まった「新しい旅のカたち」をご覧ください。



星野リゾート トマム 雲海テラス

クラブツーリズム×雑誌 タイアップ企画 女性情報誌とのコラボで 新規顧客層を開拓

クラブツーリズムでは出版社とタイアップし、雑誌読者向けにテーマ旅行、ひとり旅など同社の強みを活かしたツアーを企画・提案しています。

2016年には「家庭画報」（世界文化社）創刊60周年記念として「本物に出会う旅」をコンセプトに富裕層向けツアーを企画・発表。2018年も「CREA」（文藝春秋）2・3月合併号の「ひとり温泉ツアー」を皮切りに20代後半～40代の女性向け商品を継続的に提案してまいります。また、「CREA」のスピノフ誌「CREA Traveller」2018年春号でも特集「新しいパリ」をテーマに「パリ芸術物語6日間」を提案しています。

新しいお客さまと出会うため、クラブツーリズムはこれからも様々な雑誌とタイアップしてまいります。



CREA Traveller 2018年春号

将棋の聖地で夢体験！ プロ棋士と対局できる愛知県・ 西浦温泉 銀波荘の宿泊プラン

昨今、藤井聡太七段や羽生竜王の活躍で盛り上がる将棋ブーム。

KNT-CTウエブトラベルでは、本年5月から6月にかけて、過去タイトル戦が幾度も行われた「将棋の聖地」愛知県・西浦温泉銀波荘の壺中庵貴賓室「観月」で、現役のプロ棋士・女流棋士と対局できるスペシャルツアーを催行しました。

将棋愛好家の皆さまにご参加いただき、タイトル戦さながらの雰囲気の中、プロ棋士や人気女流棋士との対局をご堪能いただきました。今後もこのような話題性、テーマ性のある旅行の拡充に努めてまいりますので、ぜひご期待ください。



世界文化遺産等の管理運営業務を受託 近畿日本ツーリストの地域交流事業

近畿日本ツーリスト関西では、地域の観光資源への誘客等を支援する地域交流事業の一環として、本年3月から世界文化遺産・国宝「姫路城」の管理運営業務を受託しました。

日本で初めて世界文化遺産に登録された「姫路城」は、2015年に平成の大修理を終え、「白鷲城」とも呼ばれる築城当時の美しい姿を見せています。最近では外国人観光客の伸びも著しく、国内外から年間200万人以上のお客さまに訪れていただいています。

近畿日本ツーリストでは、各地で地域交流事業を展開しており、近畿日本ツーリスト九州でも、西郷隆盛生誕の地「鹿児島市加治屋町」で「西郷どん 大河ドラマ館」の運営業務を受託しています。

ぜひ一度お越しください。



提供：姫路市

お客さまの人生に寄り添うサポートを 終活の「総合サポート&ご案内デスク」を開設

クラブツーリズムは、2017年9月に「総合サポート&ご案内デスク」を開設し、「終活」に関わる総合サービスを提供する「クラブツーリズム・メモリアル」をスタートしました。

「クラブツーリズム・メモリアル」では、一人ではなかなか解決できない「終活」に関わる不安や悩みを解消いただくため、自分史の作成支援から海洋散骨体験ツアー、樹木葬専門業者の紹介、生前葬のプロデュースなどのサービスをご提供します。

この事業は、2012年から企画・実施している終活関連の講座やバスツアーに参加いただいたお客さまからの要望に応えるもので、順次サービス内容の拡大・充実を進めていく予定です。

クラブツーリズムでは、今後もお客さまの人生に寄り添う様々なサービスでお客さまの豊かな生活を応援してまいります。



お問い合わせ先：クラブツーリズム・メモリアル事務局
TEL：03-4335-6228
営業時間：9：15～17：30
※土・日・祝日・年末年始は休業

会社概要 (2018年3月31日現在)

商号 KNT-CTホールディングス株式会社
設立 1947年5月
創立 1955年9月
本社 東京都千代田区東神田一丁目7番8号
 電話番号 03-6891-6840

資本金 8,041百万円
発行済株式総数 27,331,013株

取締役および監査役 (2018年6月20日現在)

取締役会長	小林 哲也	取締役	小山 佳延
代表取締役社長	丸山 隆司	取締役	田ヶ原 聡
取締役	中村 哲夫	取締役	西野目 信雄
取締役	加藤 真人	取締役	高橋 洋
取締役	池畑 孝治	監査役(常勤)	馬越 俊司
取締役	西本 伸一	監査役(常勤)	今井 克彦
取締役	瓜生 修一	監査役	河崎 雄亮
取締役	篠田 学	監査役	平野 雅大

株主メモ

単元株式数 100株
事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
基準日 定時株主総会関係 3月31日
 期末配当支払株主確定関係 3月31日
 中間配当支払株主確定関係 9月30日
 その他 あらかじめ公告する日

定時株主総会 6月中
公告方法 電子公告
<http://www.kntcthd.co.jp/ir/e-koukoku.html>
 ただし、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第1部

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 ☎ 0120-232-711
 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式に関するお手続きについて

特別口座に記録された株式					
お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先				
<ul style="list-style-type: none"> 特別口座から一般口座への振替請求 単元未満株式の買取請求 住所・氏名等のご変更 特別口座の残高照会 	<table border="0"> <tr> <td>特別口座の口座管理機関</td> <td>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 ☎0120-232-711 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部</td> </tr> <tr> <td>株主名簿管理人</td> <td>[手続き書類のご請求方法] インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/</td> </tr> </table>	特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 ☎0120-232-711 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	株主名簿管理人	[手続き書類のご請求方法] インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 ☎0120-232-711 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部				
株主名簿管理人	[手続き書類のご請求方法] インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/				
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問合せ 	<table border="0"> <tr> <td>株主名簿管理人</td> <td>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 ☎0120-232-711 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部</td> </tr> </table>	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 ☎0120-232-711 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 ☎0120-232-711 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部				

証券会社等の口座に記録された株式			
お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先		
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問合せ 	<table border="0"> <tr> <td>株主名簿管理人</td> <td>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 ☎0120-232-711 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部</td> </tr> </table>	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 ☎0120-232-711 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 ☎0120-232-711 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		
<ul style="list-style-type: none"> 上記以外のお手続き、ご照会等 	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。		

当社ウェブサイトのご案内



<http://www.kntcthd.co.jp>

経営情報、各種IR情報をご覧いただけます。

(イメージ)

株主優待制度のご案内

毎年3月末および9月末現在、当社株式を100株(1単元)以上ご所有の株主さまに対し、ご旅行優待券を2枚贈呈いたします。

対象商品

[メイト][ホリデイ][クラブツーリズムの旅]の各企画旅行商品

発行時期および有効期限

	発行時期	有効期限
3月末現在の株主さま	6月下旬	12月末日まで
9月末現在の株主さま	12月上旬	翌年6月末日まで

ご旅行優待券のご利用枚数と割引額

1回のご旅行につきツアー本体価格に応じて次の金額を割引

1枚ご利用の場合

ツアー本体価格	30,000円以上	50,000円以上	100,000円以上	200,000円以上
割引額	1,500円	2,500円	5,000円	10,000円

2枚同時にご利用の場合

ツアー本体価格	300,000円以上	400,000円以上
割引額	15,000円	20,000円

KNT-CTホールディングスは、
 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を
 応援してまいります。



東京2020オフィシャルパートナー(旅行サービス)

免責事項

本株主通信に掲載している将来に関する予想については、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、異なる場合があることをご承知おください。